

# 稲作生産情報第1号（要約）

令和6年3月6日  
青森県「農林水産力」強化本部

---

---

高品質で良食味な米づくりに向け、健康な土づくりと健苗育成に努めよう！  
浸種・催芽は丁寧に行い、出芽を揃えよう！  
適期田植えに向け、苗づくりの準備を計画的に行おう！

---

---

- 1 高品質で良食味な米づくりに向け、堆肥や稲わらなどの有機物や土壌改良資材を適正に施用し、健康な土づくりを進める。
- 2 健苗を適期（5月10日～25日頃）に田植えするため、は種日（4月5日～20日頃）に合わせて、種子の塩水選、消毒、浸種作業の日程を計画する。
- 3 育苗予定地は早めに除雪を行うほか、排水溝をつくり置床を乾燥させる。ハウスでは、早めにビニールを張って地温の上昇に努める。
- 4 種子の塩水選は、うるち種では1.13、もち種では1.08の比重で行う。
- 5 種子消毒は、薬剤の使用方法をよく確認して行う。特に、生物農薬や温湯消毒は、適正処理に努め、防除効果を安定させる。
- 6 催芽を均一にし、出芽ムラの発生を防止するため、十分な浸種と適切な水温管理に努める。特に「はれわたり」は十分留意する。
- 7 催芽は、芽の伸び具合を必ず確認しながら加温時間を調整し、芽の長さは0.5～1.0mm程度に仕上げる。
- 8 床土及び置床のpHは、ともに4.5～5.5の範囲とする。

報道機関用提供資料	
担当課 担当者	農林水産部農産園芸課 稲作・畑作振興グループ 総括主幹 成田真樹
電話番号	直通 017-734-9480 内線 5073
報道監	農林水産部 次長（農商工連携推進監） 成田澄人 内線 4966